

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和3年2月20日発行

No.137



(新春狼煙あげ 城山城址 撮影:高木浩二)

令和3年1月4日、15回目となる新春狼煙あげが行われました。

写真手前が城山、奥に霞んでいるのが馬籠峠。

見事な狼煙があがりました。

寒い中参加された皆さん、ありがとうございました。

小笠原 美雪

新型コロナウイルス対策の充実

理事長 藤原 義 則

【その1】

新型コロナウイルスの第三波に備え昨年8月から計画しておりました予防備品がそろい、12月より感染予防のため、一石栃立場茶屋と愛会事務所ホールに設置しましたので紹介します。

体温計測器はスタンドタイプで接近すれば自動計測して「体温は〇〇.〇度です」と音声告知してくれます。又マスク未着用の人には「マスクして下さい」の音声告知もされます。ホールにて相対しての会議、立場茶屋では休憩時のお茶に使用するテーブルにアクリル板の飛散防止ガードを設置しました。更には従来からありますアルコール洗浄器と補充液の1年分は確保できました。換気用の扇風機も設置完了しました。またトイレの清掃にも一層力を入れるための支援を受けました。以上「(公財)日本財団」からの御支援によります。

【その2】

一石栃立場茶屋の職員はそれなりのインバウンド対応は出来ませんが本格的翻訳機も一人1台身に着けられました。事務所にも共用で1台確保できました。

更にはフェイスガードを全駐車場職員含めて十分な量を確保し対応しています。これは「木曾観光復興対策協議会」の御支援によります。

【その3】

今後の計画です。

コロナが収束し飛行機で再び多くのインバウンドの人々が中山道「てくてく」を楽しむ時、従来のままでいいのか?更なるおもてなしの希望があるのかを対面でアンケート調査しながらの意見収集をして、「ワンダフル・ビューティフル・エクセレント」評価に磨きをかけていきます。この記事が皆さんの目に付くころこの未曾有の惨禍があつた時は…と昔話になっていることを願うのみです。



〈体温測定器とアクリルガードを設置した一石栃立場茶屋〉

「おたる山」分収育林皆伐の危機 〈その1〉

理事長 藤原 義 則

令和3年度、男埴国有林に設定された分収育林の伐期が来る!令和3年4年で8.7haが皆伐対象。蛇抜け常襲の「おたる山」62~63年の幼木です。

森林管理署で設定されている分収育林が60年の契約満了を迎えようとしている。令和3年3.5ha、4年に5.2haが皆伐されようとしている。大問題です。

分収育林は当時の営林署(現森林管理署)が収益改善の一環として営林署と出資者が30年後に設定林を皆伐してその収益を折半する契約です。

男埴国有林は昭和60年初頭に大径木の盗伐が発生し、盗まれる前に伐って金に換えるとの申し入れがあった。蛇抜けの常襲の山を伐採することが大きな問題となり、議会・営林署・愛会との話し合いがもたれた。その結果地元同意なくして伐採はしないとの約束が出来た。

しかしこの山に「分収育林」が設定されていることは知らされなかった。当時の経緯の概略は以下の通りです。

*昭和60年当初、木曾の国有林各地で檜大径木が盗伐された。吾妻地区においても同様に起こった。旧清内路峠手前国道脇・男埴山林道脇で発生した。この事件を契機として営林署では盗伐にあつた恐れのある道路沿いの大径木を伐採したいと地元へ申し入れがあったが、妻籠を愛する会では、ここは中山道の脇で木曾檜の大径木とふれあいの出来る貴重な場所であり、蛇抜けの常襲地帯、水源涵養林、郷土環境保全地域、重伝建地区の脇にあるため、反対運動を行い住民の同意なくして伐採しないと約束した山です。

「おたる山」は風化花崗岩のサバ土で山の保持力がなく万が一立木の皆伐など広範囲に行われれば「蛇抜け」の引き金を引くようなものです。各方面に働きかけ、蛇抜けの防止と景観保全のために伐採の中止を実現したい。

〈愛会の対応〉1月13日の理事会において特別委員会を立ち上げ深く検討することになりました。経過は広報にて報告します。(つづく)

(次回蛇抜けについて)

新春放談会開催

正月三が日の雪がウソのように快晴に変わり、真っ青な空のもと狼煙あげが無事に終わり、1月4日13時より恒例の新春放談会が始まりました。新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、(公財)日本財団の補助金により購入したアクリルガードと検温器、消毒液等を活用して行うことができました。14名の参加で、程よい距離をとりながら新年の抱負を語り合い、向井町長、伊藤教育長も参加され、1時間半ほど和気あいあいと楽しい談義ができました。



〈木曽谷狼煙あげ参加まとめ〉

2021年1月4日(月) 10時30分 一斉点火

① 南木曽町

妻籠城址、大妻籠、下り谷、馬籠峠頂上、
愛宕山城址、棚野、十二兼

7か所 58名参加

② 大桑村

和村、弓矢、殿

3か所 27名参加

② 上松町

上松小学校、倉本、西小川、

3か所 25名参加

③ 木曽町

関山公園、小丸山、上田、越立峠、宮ノ越

5か所 47名参加

④ 木祖村

水の始発駅公園、菅きさらぎ運動公園

2か所 65名参加

⑤ 塩尻市

奈良井城跡 1か所 13名参加

合計 21か所 235名

夜回り組初参加

中町 鈴木 剛

今回愛友会のメンバーとして地域の事に少しでも携わろうと言う事で冬場の夜回りに参加する事になりました。妻籠宿に長いこと住んでいますが車生活に慣れた今、宿場を歩く機会も歳を重ねるごとに減っていき今回のような機会がないとゆっくりと歩くことも無くなってきました。

夜道に街灯で照らされた妻籠を拍子木を鳴らしながら歩いてみて妻籠っていい所なんだなあと改めて感じる事ができました。車で通るだけじゃ見えないものがいっぱいあると思うのでまたゆっくり妻籠を散策してみようと思います。コロナの影響で観光客も減ってしまっはいると思いますが今後も愛友会や公民館活動などを通じてこの地を守って行けたらと思います。



【今年の夜回り組】

1月5日から3月2日まで19名が順番に3回ずつ行っています。今回鈴木剛さんを含め5名の方に新たに加入していただきました。メンバーを紹介します。

(順不同・敬称略)

横山純、石垣八十志、原拓也、野田覚、原信之、磯村琢弥、原修己、村田次夫、仙名功、平田伊知郎、今井啓文、鈴木剛、鈴木竜行、平川慎治、三浦順明、宮下朋之、牧野光幸、郷原二三男、藤原崇道、以上19名です。

拍子木のことを「柝(き・たく)」と呼び、夜回りの別名を「寒柝(かんたく)」というそうです。

拍子木の「カチカチ」という音が聞こえてきたら、もう一度火の元を確認してくださいね。

〈夜回り組、新規加入者募集中!〉

雪のあと、青空の下で新春狼煙あげ

2021年1月4日

塩尻市奈良井 折橋輝夫

木曽郡榑川村が2005年(平成17)に塩尻市に編入合併してから令和3年4月1日で16年になります。狼煙あげに参加したのが塩尻市奈良井になって2011年(平成23)からです。

「木曽はひとつ」の思いをつなぐ新春恒例の狼煙あげが素晴らしい晴天に恵まれて、奈良井城跡において空高くあがる白煙を見ながら、新型コロナウイルス終息を願い、そして今年一年間元気で健康に過ごすことができるようにと祈りました。



〈塩尻市：奈良井城跡〉

木曽町宮ノ越 千村博章

宮ノ越わんぱく村での新春恒例の狼煙あげを1月4日実施しました。当日は、快晴・微風で気温マイナス6℃の寒い中、総勢14名での新春狼煙あげを実施しました。木曽町日義支所長・木曽振興局の方2名の方に視察に来て頂きました。



〈木曽町：宮ノ越わんぱく村〉



〈木祖村：水の始発駅公園〉

上松町 長瀬恵敏

見学に来た子供の健康、今年受験する中学生の合格を祈念して、恒例の五社神社一八太鼓を演奏後、大屋町長の点火で狼煙あげが始まった。木曽駒を背景にお天気も良く。



〈上松町：上松小学校〉



〈大桑村：
上：弓矢、
下：和村〉



南木曾町観光協会 置名真弥



〈馬籠峠頂上〉



〈下り谷〉



〈大妻籠〉



〈三留野愛宕山城址〉

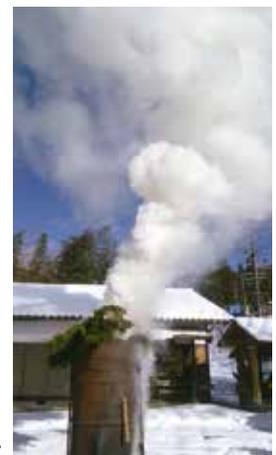
令和3年1月4日、木曾谷の新年恒例行事「狼煙あげ」に参加しました。昨年に引き続き、今年人生2回目の狼煙あげ参加です。昨年は上の原、今年は城山のお手伝いをしました。昨今では珍しく新年から積雪となり、一面真っ白となった妻籠城址での狼煙あげとなりました。城山では今井啓文さんをはじめ20人程集まり、子供たちが雪遊びに興じたり賑やかな雰囲気の中準備を進めました。ドラム缶を使用して火を焚き、時間になると針葉樹の青葉を一気にドラム缶に放り込み、ダイナミックな煙を上げます。天気は抜群に良く、風も無かったので立派な狼煙が立ち上がりました。立ち上る煙を見ながら、昔の人はこうやって遠方の相手と連絡や合図をとっていたんだなとしみじみ考えていました。新年からこうして皆さんと高台に登り、狼煙をあげ、煙と景色を見ながら昔と未来を思い描く。こういった行事がずっと続いていくといいと思いました。昨年は本当に未曾有の年となりました。本年こそこの厄災が去り、また来年晴れやかな気持ちで狼煙あげができることを願います。



〈妻籠城山城址〉



〈榎野〉



〈十二兼〉

妻籠の小正月

【繭玉と餅花飾り】

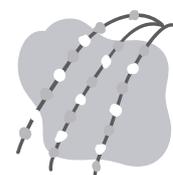
1月12日、妻籠観光協会の女性部が恒例の繭玉づくりを行いました。今年はコロナの影響もあり、役員数名でふれあい館と観光案内所に飾りました。餅花は店先にも飾られました。



【十三月】

小正月行事の一つである「十三月」のお飾りを、愛会事務所、まつや、田原家の門口に立てました。ホンダル(ヌルデ)の木を二つに割って、切り口に墨で13本の線を引く。鬼は数に弱いので、何度も数え直しているうちに夜が明け逃げていくそうです。鬼除けのおまじないです。

同じくホンダルの木で作った大根と人参も門口に立て豊作祈願をします。早くコロナが終息し、賑やかな妻籠宿に戻るといいですね。



「まつや」にシャワールーム設置

今年度の元気づくり支援金で愛会が所有する上町の「まつや」にシャワールームができました。今年はコロナの影響で外国人観光客の姿はありませんが、沢山の人が利用していただきたいと思っています。



宿 場 暦

- 11月1日：令和2年度第3回観光地点パラメータ調査、中央日本総合観光機構撮影
 6日：理事会
 12日：伊那・駒ヶ根・飯田市議長連来宿案内（理事長）
 13日：衣装部会
 14日：三役会
 16日：日本ナショナルトラスト臨時総会（書面）
 17日：小谷村公民館研修来宿（理事長）
 19日：会計検査院田原家視察
 20日：統制委員会、広報「妻籠宿」136号発行
 23日：（第53回文化文政風俗絵巻之行列：中止）
 25日：衣装部会
- 12月1日：木曾谷狼煙あげ連絡会（合庁・理事長）
 3日：リニア中央新幹線尾越工区工事説明会
 7日：妻籠宿保存審議会（理事長・常務）
 15日：妻籠宿連絡調整会議（教委・町・観協・財団）
 17日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会（理事長・常務）、妻籠宿案内人の会役員会・学習会
 21日：統制委員会
 22日：令和3年度元気づくり支援金説明会
 23日：聖火リレー連絡調整会議（理事長・常務）、広報部会
 28日：事務所仕事納
- 1月 4日：新春放談会（14名）、第15回狼煙あげ（21か所・235名）
 5日：夜回り開始（～3月2日）
 9日：三役会
 12日：繭玉作り（観協女性部）
 13日：理事会
 20日：統制委員会
 26日：日本遺産「木曾路」事業検証・検討部会（木曾町・理事長）、（文化財防火デー：中止）
 27日：広報部会
 28日：男埴特別委員会
 31日：令和2年度第4回観光地点パラメータ調査

景観保持のため、宿場内での路上駐車はやめましょう！

統制委員会審議事項

- 11月20日
 ・外壁修理工事（下町） 1件
 ・配電線設備設置に伴う伐採（中電：上在郷） 1件
 ・木製ガードレールの修繕（環境色ガードレールへの布設替え）（県：大妻籠） 1件
 ・群状択伐（関電：下り谷） 1件
 ・屋根板修繕（下町） 1件
 ・物置設置（下町：無料休憩所） 1件
 ・側溝上蓋改修（上町） 1件
 ・地藏沢橋・南木曾町119号橋補修工事（町：下町・恋野、尾又） 1件
 ・その他：電柱・支線新設・建替工事（中電：H30.12月申請分）工期延長、旧中山道（神明）柵：擬木で応急措置
- 12月21日
 ・雨樋修繕（大妻籠） 1件
 ・表木戸修繕（中町） 1件
 ・物置除却（上町） 1件
 ・緊急制水システム設置（関電：尾又） 1件
 ・巨木幹枝払い（愛する会：尾又） 1件
 ・外壁修繕（愛する会：一石栃立場茶屋） 1件
- 1月20日
 ・旧妻籠中学校西側壁面応急修理（教委） 1件
 ・仮設非常用電源装置設置（関電：妻籠・蘭川） 1件
 ・群状択伐（関電：妻籠地区） 5件



2019年度大成建設補助金により事務所に
 書架を設置しました

発行：公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

週末ワークキャンプ in 妻籠 初開催

奥ジャパン株式会社
中山道妻籠支店 窪美 靖

「そうだ、ボランティアを呼んで、中山道の整備をしよう!」

そんなアイデアが浮かんだのは、コロナ禍の中、何かできることはないかと妻籠から馬籠峠までのランニングをしていた時でした。このような美しい道が残されているのは、地元の方たちが整備してくれているおかげです。公私ともにお世話になっている中山道に少しでも恩返しができるかもしれないと考え、妻籠を愛する会の藤原理事長に相談したところ、快い返事をいただきました。開催時期は、10月最終週の土日の二日間、定員10名(民宿に分宿)として、NICE(ナイス)というワークキャンプ団体を通じて、募集を開始したところ、予想を上回る16名の申し込みがありました。

そして迎えた開催当日、10代から60代のボランティア16名、さらに奥ジャパンの社員8名(+保護者1名、子ども2名)も参加して、城山の整備に向かいました。作業は眺望を確保するための雑草・雑木の伐採、水切りの補修、トイレ掃除。翌日は、大妻籠から一石柧までの区間で、南木曾町教育委員会、妻籠を愛する会のスタッフ、一般の地元の方たちと一緒に男滝・女滝の眺望確保等の作業を行いました。一石柧立場茶屋での昼食後、各参加者から感想をもらいました。紙面の関係ですべての感想は書き切れませんが、一部を紹介したいと思います。

- ・景観保全是達成感があった。
- 宿の食べ物美味しかった。(岐阜県20代女性)
- ・地元の方の妻籠愛が凄い。旅行でまた来たい。(富山県20代男性)
- ・旅行に行くより充実していた。
- 妻籠はいい人ばかり。(愛知県20代女性)

今回の初開催を終えて、まずは多大なご協力をいただいた妻籠を愛する会、妻籠観光協会、南木曾町教育委員会、各民宿の皆様にお礼を申し上げます。また、交流会の会場を貸していただいた大妻籠地区の方々、交流会への差し入れお店での割引をいただいた地元の方たちに感謝申し上げる次第です。

コロナ禍という大変な状況ですが、ワークキャンプが今後も継続していける活動になりましたら幸いです。



〈水切り〉



〈一石柧立場茶屋〉



〈勢ぞろい〉



〈男滝・女滝での作業〉